

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 花尾 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

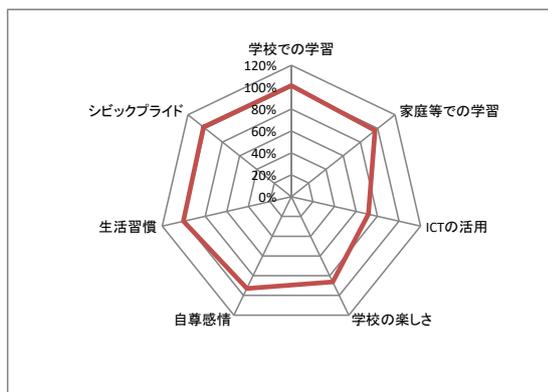
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・記述問題を苦手とする生徒も多い中、無解答率は下がってきているので努力と意欲は感じられるが、日々の取組の中で読書等を含めて長文を読む、自分の考えを書く他人の考えに触れる機会を多くもつ必要がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・部分と全体、具体と抽象など関係性を捉えながら考える問いには正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	・目的に応じて必要な情報を取り上げたり、文章と図を結び付けたりするなどの二次的、三次的に発展する部分を鍛えることが課題である。	
数学	全体的な傾向や特徴など	・思考、判断、表現に関する問題での平均正答率が全国より高く、粘り強く考える生徒が比較的多い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・考察の対象を明確に捉えた上で、正・負の計算の正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	・文字を用いた式で表すことができず、対象を文字で表現することが課題である。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「人の役に立つ人間になりたいですか。」との問いに対して約90%の生徒が肯定的な回答をしているため、今後も学級や学校全体の中で、自分の力を発揮する場面を設定するなどし、達成感や自己肯定感を高めることができるようにする。 ・主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等に影響を与えている可能性が高いため、今後も学校全体で授業改善を進め、生徒が「わかった」「おもしろい」と思える授業にすることが必要である。 ・「家庭学習においてICTを活用している」と回答した割合が低かった。今後は、家庭学習の課題をICTを活用して与えたり、英語の家庭学習等でも活用できるように工夫していく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・国語と数学においては、全国平均を上回る結果となった。今後さらに、教材や学習形態（ペア・グループ学習や話し合い活動等）を工夫し、生徒が主体的・対話的に取り組む授業へ改善を図る。また授業の終わりに、本時の学習内容を振り返る活動を確実に設定し、授業での学習内容定着を図り、生徒が「わかる授業」づくりの継続的な取り組みを推進していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習の時間を確保するために、課題（宿題）の内容や量について各教科で共通理解を図るとともに、生活ノートを活用した家庭学習の方法について、担任が指導を行う。また、全国学力・学習状況調査の結果、明らかになった課題や取組等を保護者へ広く周知し、学校と家庭、小・中学校が連携・協力して学力向上と生徒の希望進路の実現に向けて取り組むようにする。